

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:水質(単位:pg/L)
 地方公共団体:秋田県
 調査地点:八郎湖

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] PCB類	69	1.7	4.5
[1-1] モノクロロビフェニル類	nd	0.1	0.3
[1-2] ジクロロビフェニル類	4.4	0.3	0.8
[1-3] トリクロロビフェニル類	5.1	0.1	0.3
[1-4] テトラクロロビフェニル類	12	0.1	0.3
[1-4-1] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (# 77)	0.36	0.09	0.23
[1-4-2] コプラナー-PCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (# 81)	nd	0.1	0.3
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	25	0.2	0.6
[1-5-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (# 105)	1.4	0.2	0.6
[1-5-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 114)	nd	0.2	0.6
[1-5-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 118)	3.7	0.2	0.5
[1-5-4] コプラナー-PCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 123)	nd	0.1	0.4
[1-5-5] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 126)	nd	0.09	0.22
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	18	0.2	0.4
[1-6-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 156)	0.5	0.2	0.4
[1-6-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 157)	nd	0.2	0.4
[1-6-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 167)	tr(0.2)	0.2	0.4
[1-6-4] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (# 169)	nd	0.09	0.24
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	3.2	0.2	0.5
[1-7-1] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (# 170)	0.6	0.1	0.4
[1-7-2] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 180)	1.1	0.2	0.5
[1-7-3] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 189)	nd	0.1	0.3
[1-8] オクタクロロビフェニル類	0.5	0.2	0.5
[1-9] ノナクロロビフェニル類	nd	0.1	0.3
[1-10] デカクロロビフェニル	tr(0.3)	0.2	0.5
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	10	2	5
[4] デイルドリン	94	0.6	1.6
[5] エンドリン	tr(0.9)	0.6	1.6
[7] クロルデン類	17	2.2	5.6
[7-1] <i>cis</i> -クロルデン	5.0	0.6	1.4
[7-2] <i>trans</i> -クロルデン	5.3	0.4	1.0
[7-3] オキシクロルデン	tr(0.9)	0.5	1.3
[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル	1.3	0.2	0.6
[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル	4.5	0.5	1.3
[8] ヘプタクロル類	8.6	1.1	2.8
[8-1] ヘプタクロル	nd	0.5	1.3
[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド	8.6	0.3	0.7
[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド	nd	0.3	0.8
[10] マイレックス	nd	0.2	0.5
[11-1] α -HCH	180	3	7
[11-2] β -HCH	840	0.8	2.0
[11-3] γ -HCH (別名:リンデン)	43	1	3
[11-4] δ -HCH	60	0.2	0.4

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) は参考値として扱った。

(注3) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:水質(単位:pg/L)
 地方公共団体:秋田県
 調査地点:八郎湖

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[12] クロルデコン	nd	0.05	0.20
[13] ヘキサブロモビフェニル類	nd	0.9	2.2
[13-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#153)	nd	0.1	0.2
[13-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモビフェニル (#154)	nd	0.2	0.4
[13-3] 2,2',4,4',6,6'-ヘキサブロモビフェニル (#155)	nd	0.2	0.5
[13-4] 2,3,3',4,4',5'-ヘキサブロモビフェニル (#156)	nd	0.2	0.5
[13-5] 3,3',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#169)	nd	0.2	0.6
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)	tr(87)	31	88
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	15	2	4
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	14	2	4
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	6	1	3
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	4	1	3
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	nd	1	3
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	nd	1	3
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	nd	1	2
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	nd	2	6
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル(#175)及び	nd	2	6
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル(#183)の合計値			
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	2	1	2
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	12	4	10
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	tr(51)	20	60
[15] ベルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	270	20	50
[16] ベルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	2,400	20	50
[17] ベンタクロロベンゼン	15	0.9	2.4
[18] エンドスルファン類	nd	60	140
[18-1] α -エンドスルファン	nd	50	120
[18-2] β -エンドスルファン	nd	9	22
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類	nd	2,200	5,500
[19-1] α -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd	600	1,500
[19-2] β -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd	500	1,300
[19-3] γ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd	500	1,200
[19-4] δ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd	300	790
[19-5] ϵ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd	300	740
[20] N,N-ジメチルホルムアミド	tr(37,000)	19,000	63,000

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) は参考値として扱った。

(注3) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。